

形原西浦線の進捗状況等について

問 現在の形原西浦線の進捗状況は。

答 形原町西中田地内から延長1420mを3工区に分けて施工しており、1040mが供用開始となつている。また、2工区の100mを今後発注予定であり、事業状況としては、おおむね順調に進んでいる。蒲郡の中で一番危ない交差点とも言われる形原町西中田の交差点は利用者にとって一日でも早い信号設置が望まれると思うが。



形原町西中田交差点

答 確かにこの交差点は事故が多く、注意喚起のためのカラー舗装や、LED発光板などの設置も行っており、当初よりも多少事故件数は減少していると思われる。信号設置には道路構造令に適合するよう交差点改良が必要で、関係する地権者の方には、今後補償交渉を行い、県道東幡豆蒲郡線の開通に向け信号設置ができるよう努力したい。

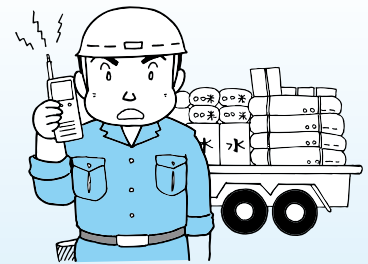
伊藤勝美(公明党)

学校安全マニュアルの整備を

問 地震による学校周辺での同時多発火災や液化現象などに対応したマニュアル整備が必要である。市の考えは。

答 整備を至急考えて見直しを実施していきたい。災害時に子供たちが自らの判断で行動できるような防災教育を深めていきたい。

消防防災GISの活用を



問 防災業務の効率化を図るため、防災施設の管理など平時から活用できる消防防災GISの活用時期は、具体的にいつか。

答 県防災システムのGISとの関連もあるので、時期の明言はできないが、引き続き検討していきたい。

その他の質問

- 1 災害時におけるアマチュア無線の有効性

日恵野佳代(無党派 日本共産党)

市民プールの立て直しを

問 今年の夏から市民プールがなくなってしまう。子供たちや市民の声を

どう受けとめたのか。

答 再開の要望が多数寄せられた。次の市長が12月の補正予算にあげてやれば、来年の夏に間に合うのではないかと考えている。

医師確保のため修学資金貸与制度の導入を

問 田原市は、23年度から医師確保に奨学金制度を導入して、3名に貸与を決定した。修学資金貸与制度の導入は医師確保に有効である。市の考えは。

答 財源の問題もあるが、医師確保に修学資金貸与制度の導入を今後検討していく必要がある。

その他の質問

- 1 放射能汚染対策と防災の充実

鈴木貴晶(無所属の会)

競艇場のイメージアップを

問 競艇場のイメージアップやファンの新規開拓

ボートレース蒲郡



答 施設のリニューアルで親しみやすく、安心して来場してもらえるようにする。新規ファンの獲得に重要なのは、まずは来場してもらい、また行ってみたいと思ってもらうことである。レース以外の施設利用としてパブリックビューイングは有効であると考えている。

人口減少問題について

問 転出者にアンケートを実施していると聞いているが、その結果は。